

英語1A (English 1A)					担当教員
					教授 鈴木 栄樹
					教授 野崎 亜紀子
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	1年次 前期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

30名程度のクラスで、「大学一般教養レベルの英語ライティング・クラスを念頭において執筆」されたテキストを使用する。各ユニットを消化していくことで、ライフスタイル・健康・環境ほか時事問題などのトピックを素材に、コロケーション（連語／語句間の慣用的な結びつき）や文法事項をふまえてライティング・スキルを向上させていただきたい。

【授業の一般目標】

高校までの文法事項の整理・定着を図ることによって、基本的なライティング・スキルを習得し、日常的な英語表現をできるだけ幅広く身につける。と同時に、科学英語や薬学英語の基礎ともなるような英語力をアップしてほしい。

【準備学習(予習・復習)】

予習としては、各ユニットのTextをノートに書き写すとともに、Exercisesを最初は自力で、次に辞書等を用いて解いてくること。授業はそうした予習をしているものとの前提で行う。その後、時間をあまりあけずに復習し、授業内容の定着を図ること。また、さまざまな英語表現を自分自身で、また友だち同士でも試みてください。iPad必携。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	Introduction 授業の進め方の説明、英語での相互自己紹介	鈴木・野崎	授業での学習方法と目標を理解する。 予習・復習のやり方を理解する。
2	Unit 1 First Impression Unit 2 Sparks at Fuji Rock	鈴木・野崎	文法事項としては、冠詞／可算名詞・不可算名詞、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
3	Unit 3 A Stroke of Luck Unit 4 Keeping Fit, Eating Well	鈴木・野崎	文法事項としては、名詞の変則的な単数形・複数形／コロケーション（連語）、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
4	Unit 5 Advice to Freshman Unit 6 A Cry for Help	鈴木・野崎	文法事項としては、比較級と最上級／感情を表す形容詞、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
5	Unit 7 Festivals Unit 8 A Tasty and Easy Meal	鈴木・野崎	文法事項としては、頻度を表す副詞／語の選択、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
6	Unit 9 The Tour de France Unit 10 Clean Water	鈴木・野崎	文法事項としては、動詞の過去形／現在完了、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
7	Unit 11 Women in Work Unit 12 Controversy	鈴木・野崎	文法事項としては、過去形と現在完了形／句動詞、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
8	Unit 1 ～ Unit 12のreview	鈴木・野崎	Unit 1 ～ Unit 12 までの学習内容の更なる定着をはかる。
9	Unit 13 Millennial Generation Unit 14 The Key to Long Life	鈴木・野崎	文法事項としては、未来を表すbe going to とwill／能力・可能性のcanとcould、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
10	Unit 15 The Future of Tourism Unit 16 Cheaper Travel	鈴木・野崎	文法事項としては、推量のmayとmight／義務・必要を表すshouldとmust、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
11	Unit 17 Word of the Year Unit 18 Considering Others	鈴木・野崎	文法事項としては、Wh-疑問文／丁寧な疑問文、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
12	Unit 19 Healthy Grades Unit 20 A History of the Internet	鈴木・野崎	文法事項としては、時と場所を表す前置詞／前置詞by, during, for、 また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。

13	Unit 21 The Statistics of Safety Unit 22 Learn from the Masters	鈴木・野崎	文法事項としては、手段・方法としてのby／条件のif、また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
14	Unit 23 New Technology Unit 24 Rating Professors	鈴木・野崎	文法事項としては、伝達のthat／理由のbecause、また、それらをふまえた英語表現を学ぶ。
15	総括・まとめ		

(書名)
教科書 Express Ahead

(著者・編者) Graeme Todd, Roger Palmer and Maki KINSEIDO
mi Kano

(発行所)

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を主とし（70%）、予習・復習の程度（プリントの整理・ノートづくり等）、質問など授業への積極度、課題提出など（30%）を加味して評価する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

基本的には金曜日の午後3時30分～5時30分をオフィスアワーとするが、所用が入ることもあるので、必ず事前にアポイントメントをとってほしい。詳しくは、初回の授業の際に説明する。